

令和5年7月13日  
教 育 庁

## 中学校英語スピーキングテスト次期事業者について

- 1 中学校英語スピーキングテスト次期事業者について
  - (1) 協定期間  
令和5年度から令和10年度まで
  - (2) 選定方法  
「中学校英語スピーキングテスト募集要項」に基づく審査委員会において、最優秀事業応募者を決定
- 2 最優秀事業応募者  
ブリティッシュ・カウンシル
- 3 今後のスケジュール
  - (1) 「基本協定その1」の締結 令和5年7月中旬  
（「基本協定その1」の内容）
    - ・ 当該者を事業予定者として決定すること
    - ・ 事業計画等について具体的な協議を進めること等
  - (2) 「基本協定その2」及び「実施協定」の締結 令和5年7月下旬から8月上旬  
（「基本協定その2」及び「実施協定」の内容）
    - ・ 事業者として正式決定すること
    - ・ 本事業の実施に関する事項についての協議を行った上で合意に至った事項

＜参考＞次期事業者による中学校英語スピーキングテスト実施スケジュール

	令和5年度	令和6年度から令和10年度まで
ESAT-J (対象：第3学年)	(現協定において実施)	新協定において実施
ESAT-J Pre 2 (対象：第2学年)	新協定において実施	
ESAT-J Pre 1 (対象：第1学年)		

- 4 審査講評及び審査委員  
別紙1「中学校英語スピーキングテスト 次期事業者に係る審査結果及び審査委員会審査講評」及び別紙2「中学校英語スピーキングテスト審査委員会委員」のとおり

中学校英語スピーキングテスト 次期事業者に係る審査結果及び審査委員会審査講評

1 審査結果

東京都教育委員会は、東京都中学校英語スピーキングテスト事業について、令和5年5月9日に公表した「中学校英語スピーキングテスト募集要項」及び「中学校英語スピーキングテスト審査基準」に基づき、令和5年5月29日から同年6月9日までに1件の提案を受け付けました。

提出された提案について、事業応募者の構成等に瑕疵がなく、欠格事項にも該当しないことを確認しました。

その上で、令和5年6月30日に「中学校英語スピーキングテスト審査委員会設置要項」に基づく中学校英語スピーキングテスト審査委員会を開催し、提案書等及びプレゼンテーションに基づく審査を行った結果、ブリティッシュ・カウンシルを、最優秀事業応募者として決定しました。

2 審査委員会審査講評

以下に、最優秀事業応募者の提案に関する中学校英語スピーキングテスト審査委員会の講評を示します。

(1) 最優秀事業応募者提案の優れている点

- ア 東京都教育委員会が小・中・高等学校で一貫した英語教育を推進する上で、募集要項に掲げた中学校における「話すこと」の指導の充実を図るための事業目的を十分に理解している。
- イ ブリティッシュ・カウンシルが実施している英語検定試験は、世界的な基準に基づき、各国で実施されていた実績があり、本試験の問題作成や採点、評価における信頼性が担保されている。
- ウ 採点に当たっての評価方針や受験者への適切な情報提供など、受験者の意欲向上や学習改善に向けた具体的な計画が立てられている。
- エ 英語担当教員の授業改善に資する十分な情報を提供するなど、事業の効果を最大限に発揮させるための方策を準備している。

(2) 本事業を進めていく上での注意点

- ア スピーキングテストの公正性・公平性及び安全性を確保するため、適切な機器を使用すること。
- イ 中1・中2のスピーキングテストの具体的な実施方法については、使用する機器や環境の整備等、東京都教育委員会と十分に協議し、承認を得ること。
- ウ 都内公立中学校等全生徒を対象とする大規模な実施に係る運営上の安定性及び安全性を担保するため、適切な人員配置、会場の確保等、確実な実施体制を構築すること。また、あらゆるリスクを想定し、回避策等を検討した上で、東京都教育委員会と十分に協議し、準備を行うこと。
- エ 協力会社と共同で実施するに当たり、責任の所在及び意思決定の手続を明確にするとともに、確実な実施体制等を構築し、東京都教育委員会と共有すること。
- オ 事業の安定性・継続性を鑑み、適切な収支計画に基づき運営すること。

### (3) 提案の総合的な評価

次の三点を高く評価し、最優秀事業応募者として決定します。

ア 国内外を問わず、世界規模で実施している資格・検定試験の実績により、問題作成や採点・評価において、安定した試験運営を実現できる基盤が整っていること

イ スピーキングテストにおいて重要な点であるタブレット端末等の使用機材を準備することが可能であり、安定的・継続的な事業運営が可能であること

ウ 東京都教育委員会が推進する「使える英語力」の向上のための理念を共有し、実現に向けた強い熱意を有していること

東京都教育委員会が募集要項に掲げた事業目的や必要な要件から逸脱することなく、東京都立高等学校入学者選抜において結果を活用することを考え合わせ、本事業を公平・公正、安全かつ安定的に実施し、小・中・高等学校一貫した英語教育の推進に資することを期待します。

## 中学校英語スピーキングテスト審査委員会委員

職名	氏名
東京家政大学人文学部教授	太田 洋
独立行政法人大学入試センター 参与	大津 起夫
大田区教育委員会教育長	小黒 仁史
西東京市教育委員会教育長	木村 俊二
渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 弁護士	本郷 真弓
作本公認会計士事務所 公認会計士	作本 遠
教育庁総務部長	山田 則人
教育庁都立学校教育部長	村西 紀章
教育庁指導部長	小寺 康裕
教育庁グローバル人材育成部長	瀧沢 佳宏